

市民参加型の水生生物調査を核とした水辺環境の体験学習活動

水辺に親しむ会

大阪府

1. はじめに

当会は淀川左岸域（主に寝屋川市、枚方市）の水辺環境やそこに住む生き物について調査し知識を深め、またそれを広く地域の人々に伝えることで環境保全に寄与することを目的として活動を行っています。これは、多くの人がそれぞれの最も身近にある水辺に目を向け、水辺環境や生き物について興味を抱き、その大切さに気付けば、そのネットワークが小川から海に至るまで水圏全体の保全につながると考えたからです。当会の活動が地域の水辺に関心を寄せ、水辺環境を意識するきっかけとなればと願っています。

2. 活動内容

水生生物調査や、身近な水辺の生き物について広く地域の人々に知ってもらう為の活動を行っています。例会として季節毎（年4回）、農業用水路である淀川左岸幹線水路の水生生物調査を長期にわたり実施しています。寝屋川市が主催する自然観察会には当会役員が講師を担当しています。また、「身近な水辺の水族園」と題した水生生物の展示会を開催し、調査結果や身近に棲む生物の紹介をしています。これらの活動報告を掲載する会報誌を年4回発行しています。会報誌は、市民の目に付き、手に取ってもらえるようにA4版フルカラーオフセット印刷としています。市民の水辺環境保全への意識啓発に寄与すべく、会報誌は行政機関（寝屋川市・枚方市等）の出先機関や水生生物展示会にて無料配布しています。

（1）淀川左岸幹線水路 水生生物調査

① 【夏例会】

平成29年8月16日（水）天候：晴れ 参加人数は12名。

当日の定点ポイントでの平均水温は、27.29℃、平均pHは7.15

定量調査で11種（カネヒラ、コウライモロコ、ニゴイ類、オイカワ、コイ、カマツカ、フナ類、ヒガイ類、タモロコ、ボラ、ワタカ）

定性調査で16種（カネヒラ、コウライモロコ、ニゴイ類、オイカワ、コイ、カマツカ、フナ類、オオクチバス、モツゴ、ニホンウナギ、ドンコ、ヨシノボリ類、カワアナゴ、ブルーギル、ヌマチチブ、コクチバス）

全体で20種を確認。

【夏例会の様子】



▲ 投網による定量調査



▲ 初参加の高校生二人



▲ 採集したカネヒラ



▲ 採集したカワヒガイ

② 【秋例会】

平成29年10月22日（日） ⇒ 台風21号接近の為、29日に延期。

平成29年10月29日（日） ⇒ 台風22号接近の為、例会中止。

平成11年（1999年）から平成29年（2017年）まで、継続してきた淀川左岸幹線水路水生生物調査が、台風接近の為初めて中止となった。

③ 【冬例会】

平成30年1月21日（日）天候：晴れ 参加人数は9名。

当日の定点ポイントでの平均水温は、5.2℃、平均pHは7.22

定量調査で3種（コウライモロコ、カマツカ、オイカワ）

定性調査で10種（コウライモロコ、カマツカ、オイカワ、ヨシノボリ類、
ヌマチチブ、ニゴイ、フナ類、モツゴ、カワアナゴ、ブルーギル）

全体で10魚種を確認。

【冬例会の様子】



▲ 投網による定量調査



▲ 採集記録



▲ 採集したカワアナゴ



▲ 採集したヨシノボリ類

④ 【春例会】

平成30年4月8日（日）天候：晴れ 参加人数は11名。

当日の定点ポイントでの平均水温は、12.5℃、平均pH7.32

定量調査で0種、定性調査で7種（カマツカ、コウライモロコ、ヌマチチブ、
ヨシノボリ類、ドジョウ、ニゴイ、ブルーギル）

全体で7魚種を確認。

【春例会の様子】



▲ 例会朝のミーティング



▲ 例会参加の子ども達



▲ 採集したイシガイを手にして



▲ 投網の中を確認中



▲ 同定&計測作業



▲ 子供たちもお手伝い

(2) 自然観察会

①【寝屋川市環境部環境総務課主催の自然観察会（メダカ調査）】

平成30年6月2日（土）天候：晴れ 参加人数は24名。

【メダカ調査の様子】



▲ 講師による漁具の説明



▲ 寝屋川での自然観察会



▲ 観察会のまとめ



▲ 参加者の集合写真

<確認した魚種は以下の7種類>

カダヤシ、ブルーギル、モツゴ、ドジョウ、オイカワ、フナ、ヨシノボリ

<確認したその他の生物>

ハグロトンボのヤゴ、オオコオイムシ、アメンボ、ミシシippアカミミガメ、アオダイショウ、ヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、シジミ

残念ながら今年もメダカは確認できませんでしたが、実際に採集を体験して生き物に触れたことは子ども達にとって貴重な体験になったと考えます。

今回、アオダイショウに触れる機会もあり、ヘビが生きていける環境を説明する機会もできましたので、環境について一歩踏み込んで説明できたと考えます。

②【寝屋川市内の自然観察会】

平成29年7月2日（日）天候：晴れ 参加人数は39名。

【自然観察会の様子】



▲ メダカとカダヤシの説明



▲ オイカワなど採集した水生生物



▲ タモ網による採集の様子



▲ 何が採れたのかな？



▲ 講師による観察会のまとめ



▲ 参加者の集合写真

◎ヨシノボリ、モツゴ、フナ、コイ、ドジョウ、オイカワ、カダヤシ、タモロコ
の8種の魚種を確認しました。

(3) 水生生物展示会「身近な水辺の水族園」開催

日時：平成29年9月2日（土）～9月3日（日）
午前10時～午後8時（最終日9/3は午後5時閉展）
場所：寝屋川市立ふれあいプラザ香里（京阪香里園駅前）

期間中の入館者数は下記のとおり。

9月2日（土：晴れ）：169人、9月3日17時まで（日：晴れ）：175人
2日間入館者数は合計344人でした。

【身近な水辺の水族園の様子－1】



▲ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里



▲ 展示スペースの外観



▲ クサガメ



▲ アメリカザリガニ

【身近な水辺の水族園の様子ー2】



▲ ザリガニ釣りにチャレンジ



▲ ザリガニが釣れた！



▲ 読売新聞記者の取材



▲ 読売新聞記者の取材



▲ 9月3日の朝刊25面に掲載



▲ 記事の切り抜き

【身近な水辺の水族園の様子ー3】



▲ 水槽を見学する親子



▲ プラケースの生き物を見学



▲ おさかなクイズにチャレンジ



▲ スタッフが子ども達のサポート



▲ 大人もザリガニ釣り



▲ ザリガニ釣りは大人気

【身近な水辺の水族園の様子－４】



▲ ナマズ



▲ カネヒラとドブガイ



▲ タイコウチとオオコオイムシ



▲ テナガエビ



▲ 脚が生えたオタマジャクシ



▲ ヌマガエル

<アンケートからご意見、ご感想の一部を紹介>

- あまり生き物とふれあうきかいない息子たちですが、ザリガニやカメ、その他の生き物にふれることができ、おやとしてもうれしかったです。ぜひまた、開催していただけたらなあと思います。ありがとうございました。楽しかったです！（寝屋川市 30代 女性）
- 子供達は、生き物が好きなのでとてもいい事ができました。ザリガニ釣り楽しかったです。ありがとうございました。（寝屋川市 30代 女性）
- 身近な水生生物を見て、触れることができ良かったです。（寝屋川市 30代 男性）
- 魚など見ていると声をかけていただき、いろいろと説明していただき、とても良かったです。（寝屋川市 40代 女性）
- 楽しいもよおでした。たまたま通りかかって参加できましたが、いつどこでこのようなイベントがされているか知る方法があれば また参加したいと思います。（寝屋川市 40代 女性）
- 孫が楽しく魚や亀を見ていました。すぐ手の届く近さでふれあえた事は良い経験になったのではと思います。ありがとうございました。（寝屋川市 60代以上 男性）
- ザリガニつりがおもしろかったです。（大東市 40代 女性）
- イベント（ザリガニ釣り）で広告したほうが、人が集まると思います。（枚方市 30代 女性）
- 子供がとても楽しめました。ありがとうございました。（寝屋川市 40代 女性）
- 娘達が自然の生き物にふれることができとても楽しかったです。昨年も来させて頂いたので、毎年続けて下さい。（寝屋川市 30代 男性）
- また、是非開催して下さい。楽しみにしています。（寝屋川市 40代 女性）
- 虫もカメも何も怖がってさわれなかった娘（4才）が、カメをさわったり、ザリガニつりをしたり、親の私がびっくりしました。時間を忘れて楽しみました。このような機会がたくさんあれば嬉しいです。（寝屋川市 30代 女性）

3. 助成金成果物

(1) 会報誌の発行

当会では、会報誌を年4回発行しています。紙面上で活動報告を行うとともに、水辺に関する記事を掲載しています。市民の目に付き、手に取ってもらえるようにA4版フルカラーオフセット印刷で作成しています。市民の水辺環境保全への意識啓発に寄与すべく、会報誌は行政機関（寝屋川市・枚方市等）の出先機関や展示会等にて無料配布しています。

今回の助成金を印刷・製本費用に活用させていただきました。

【会報誌の配布先】

- ◎寝屋川市役所 出先機関 配布先6箇所
- ①環境推進課事務所（クリーンセンター7階）、②市役所本庁（市民情報コーナー）、③香里園シティ・ステーション、④島シティ・ステーション、⑤西シティ・ステーション、⑥東シティ・ステーション
- 廃プラ処理場
- まち建設部 水・みどり室
- 市民会館（秦町4階）
- エスポワール
- ロータリークラブ（ニューコマンドーホテル2F）
- ◎枚方市樟葉上下水道施設維持
- 枚方市環境部
- 枚方市下水道部
- ◎淀川河川管理事務所枚方展示場
- ◎大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター

★大阪市立自然史博物館 「大阪自然史フェスティバル2017」

平成29年11月18日（土）～19日（日）

「110を越す団体が出展し、2日間で20,200人の来場があった」



▲ 当会の展示ブース



▲ 会報誌を手に取る来場者

水辺に親しむ会

<http://mizube.gooside.com/>



- ▲ 要別記にて確認した魚種の一部。詳細報告は次号を待て！(撮影: 仲 義博)
- 第62号の内容
- ・ P 2 4月度例会 淀川左岸幹線水路 水生生物調査報告 (2017年4月9日 実施)
 - ・ P 3 2016年度 淀川左岸幹線水路 水生生物調査のまとめ
 - ・ P 4 水生生物センターサポートスタッフ活動報告
 - ・ P 5 久々にミヤコタナゴを考える/タカラ・ハーモニストファンド活動助成決定!
 - ・ P 6 水草点描 その24
 - ・ P 7 6月3日 自然観察会(メダカ調査)に参加して/7月2日 自然観察会に参加して
 - ・ P 8 平成29年度 点野水辺づくりワークショップ(第5回)に参加して
 - ・ P 9 美しい磯遊び
 - ・ P 12 お知らせ
- 水辺に親しむ会ホームページアドレス <http://mizube.gooside.com/>
※ ホームページでは過去の活動内容を紹介しています。
- ◎ 当会の活動は「平成29年度 公益信託タカラ・ハーモニストファンド」の支援を受けています
- ※ 水辺に親しむ会では会員を募集しています。水辺や自然環境に興味を持っている方ならば年齢性別問わず、当会の活動等へ参加してみませんか! Email: BZB05541@mifty.comまでご連絡下さい。

▲第62号 平成29年8月30日発行

水辺に親しむ会

<http://mizube.gooside.com/>



- ▲ 身近な水辺の水質調査 今年も開催しました。
- 第63号の内容
- ・ P 2 8月度例会 淀川左岸幹線水路 水生生物調査報告 (2017年8月16日 実施)
 - ・ P 4 アクア・トどきふへ行ってきました
 - ・ P 9 水草点描 その25
 - ・ P 10 水生生物展示会「身近な水辺の水族園」(2017年9月2日~9月3日 開催)
 - ・ P 12 お知らせ
- 水辺に親しむ会ホームページアドレス <http://mizube.gooside.com/>
※ ホームページでは過去の活動内容を紹介しています。
- ◎ 当会の活動は「平成29年度 公益信託タカラ・ハーモニストファンド」の支援を受けています
- ※ 水辺に親しむ会では会員を募集しています。水辺や自然環境に興味を持っている方ならば年齢性別問わず、当会の活動等へ参加してみませんか! Email: BZB05541@mifty.comまでご連絡下さい。

▲第63号 平成29年10月22日発行

水辺に親しむ会

<http://mizube.gooside.com/>

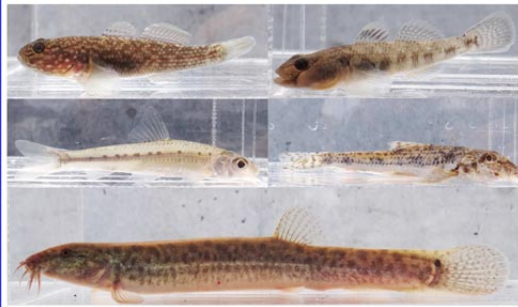


- ▲ 「大阪自然史フェスティバル2017」 当会ブースの様子
- 第64号の内容
- ・ P 2 10月度例会 淀川左岸幹線水路 水生生物調査 中止報告
 - ・ P 3 大阪自然史フェスティバル2017 参加 / 第12回社会・文化賞 受賞
 - ・ P 4 クリーンリバー豊川作戦・秋
 - ・ P 5 茨田イチョウまつり
 - ・ P 6 淀川左岸幹線水路魚面コレクション
 - ・ P 9 水草点描 その26
 - ・ P 10 淀川汽水域の串を食らうママトジミナα
 - ・ P 12 お知らせ
- 水辺に親しむ会ホームページアドレス <http://mizube.gooside.com/>
※ ホームページでは過去の活動内容を紹介しています。
- ◎ 当会の活動は「平成29年度 公益信託タカラ・ハーモニストファンド」の支援を受けています
- ※ 水辺に親しむ会では会員を募集しています。水辺や自然環境に興味を持っている方ならば年齢性別問わず、当会の活動等へ参加してみませんか! Email: BZB05541@mifty.comまでご連絡下さい。

▲第64号 平成30年1月21日発行

水辺に親しむ会

<http://mizube.gooside.com/>



- ▲ 上段: スマチチブ&ヨシノボリ風 中段: コウイモロコ&カマツカ 下段: ドジョウ 春例記にて 撮影: 仲 義博
- 第65号の内容
- ・ P 2 1月度例会 淀川左岸幹線水路 水生生物調査報告 (平成30年1月21日 実施)
 - ・ P 3 水草点描 その27
 - ・ P 4 志摩マリランドに行ってきました
 - ・ P 8 早春の湖西へ魚捕り
 - ・ P 13 サケのふるさと千歳水族館&おたる水族館に行ってきました
 - ・ P 16 2017年度 展示会 『私の自然観察』に協力展示
 - ・ P 16 お知らせ
- 水辺に親しむ会ホームページアドレス <http://mizube.gooside.com/>
※ ホームページでは過去の活動内容を紹介しています。
- ◎ 当会の活動は「平成29年度 公益信託タカラ・ハーモニストファンド」の支援を受けています
- ※ 水辺に親しむ会では会員を募集しています。水辺や自然環境に興味を持っている方ならば年齢性別問わず、当会の活動等へ参加してみませんか! Email: BZB05541@mifty.comまでご連絡下さい。

▲第65号 平成30年5月13日発行

(2) 啓発用配布資料（水生生物下敷き作成）

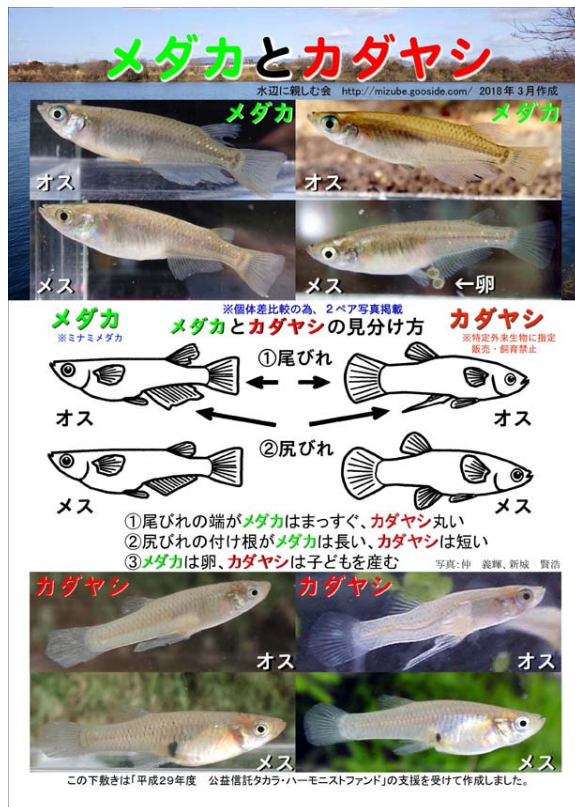
タカラ・ハーモニストファンダ活動助成を活用して、自然観察会等の参加者（主に子ども達）へ配布する資料として、地元で生息する水生生物の下敷きを作成しました。実際に水辺でも活用できるように耐久性、耐水性を備えたユポ紙を選択して作成しました。

下敷きの片面は、「メダカとカダヤシ」の見分け方、ミナミメダカと特定外来生物であるカダヤシの区別がわかるように個体差のある雌雄を2個体ならべて比較しています。理解を深める為にイラストも活用しました。

寝屋川市内では、小さな水路でもカダヤシを見ることが出来る反面、メダカを見る機会が随分と少なくなりました。このような状況からカダヤシをメダカと間違えて飼育する方も多く、メダカとカダヤシの違いを知るためにもこのような啓発グッズは必要だと考えます。

裏側には、「身近で見られるよく似た魚」ということで、「ハスとオイカワ」「モツゴとタモロコ」「コイとフナ類」と姿が似ている魚を紹介しています。

正面、横向きの写真、魚の特徴などを記載しています。



▲水生生物下敷き（メダカとカダヤシ）



▲水生生物下敷き（身近で見られるよく似た魚）



▲自然観察会参加者へ水生生物下敷きを配布

平成30年6月2日（土）に開催した、寝屋川市環境部環境総務課主催の自然観察会（メダカ調査）では、参加者に今回新たに作成した水生生物下敷きを配布しました。少しでも身近な水生生物に興味を持ち、下敷きを学校等に持っていくなどして日頃から活用してもらえることを期待しています。

4. まとめ

当会は、水生生物調査を核として活動を継続していますが、得られた知見やデータを広く市民に提供するとともに、子ども達に実際に川に足を浸ける機会を作り、水生生物に触れ合い、水辺に親しむきっかけとなるツール作りをこれからも積極的に進めていこうと考えています。水辺に親しむ経験が無いと水辺環境を守る意識が芽生えないと考えるからです。今回は、良い啓発ツールをまた一つ作成することができました。今後は、これらを効率よく活用する方策を検討する予定です。